妥性学ぶ
学生向け見学会

国土交通省柏崎維持出張所の谷内上哲生所長と植木組の社員スから昨年度の大雪の状況、除雪作業の流れや柏崎維持出張所管内の除雪確延長などの説明を受けた。

生徒は大型除雪ドーザ、ロータリー、歩道用除雪車など6台の車両を実際に見ながら除雪機械の種類、仕組みや作業に関する説明を職員から聞き、パネルの説明文も確認してメモを取るなど真剣な表情で取り組んでいた。

除雪機械に触れながら学んだ

見学会の目的に関して谷内上所長は、開口一番「やはり担い手確保」と述べた。「小中学生だと商店で働いている人など、目に見える人の姿しか分からないかもしれないが、目に見えない所で人のために働いている人がいることを知ってほしい」と話した。さらにステーションに関して「この建物はまだ新しく2シーズン目。女性用の個室やシャワー室もあり、今や男だけの職場ではない。男女の関係なく、この仕事に興味を持ってもらいたい」と語った。

日本精機

新潟県知事賞に
ICTセンサー補正

日本精機（佐藤浩一社長、本社・長岡市）が開発した「ICT建設機械のキャリブレーション方法」が2023年度関東地方発明表彰で新潟県知事賞を受賞した。

この技術は、同社の小型バックホウのためのICT施工マシンガイダンスシステム・Holfee（ホルフィー）で採用している。Holfeeは、スマートフォンと建機の可動部に設置したセンサーを利用して、バケット刃先の高さを把握し、施工しながら掘削深度をスマートフォンで確認できるもの。掘削精度が求められる下水道工事などでの利用を想定している。

既存の建機に後付けして利用できる点が特徴の一つだが、センサーの取り付け誤差の調整に時間を要することが課題だった。新技術では、誤差の補正にスマートフォンのカメラ機能を利用し、センサーの取り付け位置や角度の調整をよりスピーディーに行うことを実現。従来は1時間程度を要していた複雑な調整作業が、5分程度で完了するという。ユーザーは配線や初期設定、複雑な操作の心配がなく、簡易に設置できる。

開発者の鈴木正倫さん（日本精機技術本部センサーソリューション開発部SS商品開発）は受賞について「Holfeeユーザーに可能な限り簡単・スピーディーに準備していただきたいとの思いだった」とする。

地方発明賞は、地方における発明の奨励・育成を図り、科学技術の向上と地域産業の振興に寄与することを目的に公益社団法人発明協会が1921年に創設。全国8地方（北海道・東北・関東・中部・近畿・中国・四国・九州）の優れた発明の技術者・研究開発者を顕彰するもの。

日々の栞

願わくば、出会いたくない

▼小学校から届く一斉メール。内容は、天候の悪化による棚田を抜けると、山岳地帯の圧巻の土木構造物と、色づき始めた紅葉が見事なのだが、緊張が勝るドライブとなった▼UAV（無人航空機）による高精度の計測が可能となったが、リスクを見通し、作業員の危険回避は以前より格段に向上した。AIで動くクマの感知も可能という。しかし、あくまで出没を感知するもので、出会わないように使うものではないようだ▼測量に携わる人に聞くと、対策はクマよけ鈴に電子ホイッスル、撃退スプレーなのだそう。どうやら今年は都内でも大にして、おびえながら小走りに駆け上がった。帰りは峠を二つ越えて海を目指す。広がる下校時間じる。スマートフォンの経路案内の音量を最大にして、おびえながら小走りに駆け上がった。帰りは峠を二つ越えて海を目指す。広がる下校時間

クマが出ます！」の看板が。駐車場から目的の建物までは上り坂で、ブナ林の美しいアプローチが妙に長く感じる。スマートフォンの経路案内の音量を最大にして、おびえながら小走りに駆け上がった。帰りは峠を二つ越えて海を目指す。広がる下校時間

クマも人家付近に現れるようになった▼所用で少し山寄りに出掛ければ、そこかしこに「クマが出ます！」の看板が。駐車場から目的の建物までは上り坂で、ブナ林の美しいアプローチが妙に長く感じる。スマートフォンの経路案内の音量を最大にして、おびえながら小走りに駆け上がった。帰りは峠を二つ越えて海を目指す。広がる下校時間

りの多い国道だ。シカやクマも人家付近に現れるようになった▼所用で少し山寄りに出掛ければ、そこかしこに「クマが出ます！」の看板が。駐車場から目的の建物までは上り坂で、ブナ林の美しいアプローチが妙に長く感じる。スマートフォンの経路案内の音量を最大にして、おびえながら小走りに駆け上がった。帰りは峠を二つ越えて海を目指す。広がる下校時間

生まれて初めて。車通子ホイッスル、撃退スプレーなのだそう。どうやら今年は都内でも大にして、おびえながら小走りに駆け上がった。帰りは峠を二つ越えて海を目指す。広がる下校時間

は、帰路でついにイノシシに遭遇した。タヌキにしては大きい、鼻も長い！車といえども変な汗がにじむ。幸い、どこかへ走り去ってくれた。住まいが田舎だからと笑われたが、実はお目にかかったのは生まれて初めて。車通子ホイッスル、撃退スプレーなのだそう。どうやら今年は都内でも大にして、おびえながら小走りに駆け上がった。帰りは峠を二つ越えて海を目指す。広がる下校時間

が、イノシシほか野生動物の出没情報だ▼過日、帰路でついにイノシシに遭遇した。タヌキにしては大きい、鼻も長い！車といえども変な汗がにじむ。幸い、どこかへ走り去ってくれた。住まいが田舎だからと笑われたが、実はお目にかかったのは生まれて初めて。車通子ホイッスル、撃退スプレーなのだそう。どうやら今年は都内でも大にして、おびえながら小走りに駆け上がった。帰りは峠を二つ越えて海を目指す。広がる下校時間

の調整や不審者情報など。ひところは感染症拡大による学級閉鎖のお知らせにひやひやさせられた。そんな中、最近群を抜いて多いのが、イノシシほか野生動物の出没情報だ▼過日、帰路でついにイノシシに遭遇した。タヌキにしては大きい、鼻も長い！車といえども変な汗がにじむ。幸い、どこかへ走り去ってくれた。住まいが田舎だからと笑われたが、実はお目にかかったのは生まれて初めて。車通子ホイッスル、撃退スプレーなのだそう。どうやら今年は都内でも大にして、おびえながら小走りに駆け上がった。帰りは峠を二つ越えて海を目指す。広がる下校時間

（新潟・CY）